



# 二俣川小だより



冬休み号

横浜市立二俣川小学校 令和元年12月25日  
発行責任者 校長 池田千晶

## みんな 違うからこそ

池田 千晶

12月是人権について考える月間でした。視覚障害のView.Net 神奈川の方々においていただき、話を伺いました。盲導犬と共に生活をしている様子など、子どもたちは真剣に聞いていました。私が特に印象に残ったのが、その方が話をされるとき笑顔です。この輝く笑顔はどこからくるのだろうと、もっとたくさん話を伺いたくなりました。そのときに、ふと似ている笑顔を思い出しました。朝、登校してくる子どもの挨拶をする笑顔です。朝のあいさつ運動に運営委員会の児童が加わり、子どもの声はますます大きくなっています。立っているボランティアの方々一人ひとりに、頭を下げながらあいさつをする子どもの姿が増えてきました。その中



に、こちらが思わず幸せな気持ちになるくらい、とびきりの笑顔をしてくれる子どもがいます。この子たちは、これから生きていくうえで大きな財産を手に行っているなあと感じます。挨拶を通して、人間関係を豊かにすることを身に付けているからです。



以前、アメリカに留学した知人がこんなことを言っていました。「アメリカは、初めて会ったときに笑顔がすごく多い。なぜかなと思ったら、もともとアメリカはいろんな人種の人がいるから、『自分は敵ではないですよ』ということ伝えるために笑顔で挨拶すると聞いて、納得した。」

みんな違うからこそ、相手を理解しようとする気持ちがとても大切なのです。金子みすずさんのとても有名な詩を改めてかみしめ、気持ちを新たにしたいと思います。

「わたしと小鳥とすずと」

わたしが両手をひろげても お空はちっともとべないが  
飛べる小鳥はわたしのよう 地面（じべた）をはやくは走れない  
わたしがからだをゆすっても きれいな音はでないけど  
あの鳴るすずはわたしのよう たくさんのうたは知らないよ  
すずと、小鳥と、それからわたし、 みんなちがって みんないい

この冬休みは、子どもと過ごす時間も自ずと増えることでしょう。年末年始の慌ただしい時期だからこそ、家庭でのあいさつを意識して増やし、子どもにどんな変化があるか、いつもとちょっと違う楽しみ方をしてみてはいかがでしょうか。

4月からの9ヶ月間、子どもを共に見守ってくださったことに職員一同深く感謝いたします。よい年をお迎えください。

閉庁期間（12/27～1/5）は、学校と直接の連絡は取れません。学校閉庁日（12/27）における緊急の連絡は、西部学校教育事務所（336-3743）へ平日の8時30分から17時15分の間にご連絡ください。